

Kosovo の「ベシアナちゃんを助ける会」趣意書

趣 旨

戦争はいつの時代にも、罪のない子供たちに悲劇をもたらします。民族対立の戦火に巻き込まれた Kosovo も、例外ではありませんでした。ちょうど1998年の3月25日のことです。Kosovo 中部の村々も、セルビア軍によって焼き尽くされました。スケンデライ市（アルバニア語：セルビア語ではセルビツァ市）ブロヤ村にあったムスリュウ家の家屋も、砲撃を受け炎上しました。いつものように2階で寝ていたベシアナちゃん（1996年6月26日生まれ。当時1歳9ヶ月）は、燃え上がるベッドに横たわったまま泣いていました。父親は火の海に飛び込み、命懸けで彼女を救出しましたが、ベシアナちゃんは大火傷を負いました。彼女の頭部・顔面右にはケロイド状の火傷の痕が広がり、右頭部の毛髪を失い、右耳も半分以上形を失ってしまいました。両親が手を尽くしましたが、現在の Kosovo では、彼女の整形治療は不可能だということがわかりました。

この若い少女の受けた傷を、何とか日本で直してあげたいと考えます。

「彼女のこれからの長い人生の中で、わずか2歳にもならない時に受けたこの火傷の傷痕を、できる限り心の傷にしないよう、何かできないか。」

Kosovo の支援活動に携わる日本人有志が、このような気持ちで本会を設立しました。

ぜひ、皆様のご賛同とご協力を、お願い致します。

目 的

本会は Kosovo の戦争中に顔面及び頭部右半分に大火傷を負ったベシアナ・ムスリュウちゃんの日本における治療活動を支援する事を主たる目的として設立する。

活 動

ベシアナちゃんとその家族の日本への渡航費、滞在費、治療費等の為の募金活動

ベシアナちゃんへの日本渡航滞在中の様々な支援活動（宿泊、通訳、ボランティア活動等）

募 金 先

集められた募金はすべて上記の目的に従ってベシアナちゃんの渡航滞在治療の為に当てられる。残金が生じた場合は彼女の奨学金もしくは他の Kosovo の恵まれない子供のために使用するものとする。

本会の趣旨に賛同される方は、下記口座まで寄付金をお送り下さい。

三菱東京UFJ銀行 表参道支店（普）1323557 ベシアナちゃんを助ける会

事 務 局

ADRA Japan 事務局内 住所：150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-11-1

電話：03-5410-0045 / FAX：03-5474-2042 / Email：tokyo@adrajpn.org

発 起 人

（肩書きは1999年当時のものです） 50音順

井上 健（国連職員 UNMIK スケンデライ/セルビツァ市長） / 石井 公一（国連職員 UNMIK 上席顧問）

岡村 善文（外務省職員 UNMIK 特別代表首席顧問） / 塚本 俊也（ADRA Japan 支部長）

中村 恭一（国連職員 UNMIK 広報室長） / 益子 崇（国連ボランティア UNMIK プロジェクト担当官）

水野 時朗（国連職員 UNMIK 住民・有権者認定・登記所長） / 向井 明代（国際移住機構地域開発専門官）

安田 弓（国連ボランティア UNMIK プロジェクト担当官） / 横地 晃（外務省職員前 UNMIK プリズレン市行政官）

報 告

本会の活動報告及び募金の会計報告は事務局である ADRA Japan のインターネット・ホームページを通して行う。

Address：<http://www.adrajpn.org/>

ベシアナちゃんを助ける会

代 表 中 村 恭 一